

(大宰帥大伴 卿の相聞の歌二首)

八〇六番

竜の馬も 今も得てしか あをによし 奈良の都
に 行きて来むため

八〇七番

現には 逢ふよしもなし ぬばたまの 夜の夢に
を 継ぎて見えこそ

答ふる歌二首

八〇八番

竜の馬を 我は求めむ あをによし 奈良の都に
来む人のたに

八〇九番

直に逢はず あらゆるも多く しきたへの 枕去ら
ずて 夢にし見えむ